

# 令和3年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」第一中学校区実践計画書

事務局 第一中学校（担当職・氏名：教頭・川村隆憲）

## 1 主題（11年次）

『学ぶ意欲を高め、自ら考える力を育てるための小・中連携のあり方』  
～「話す」・「聞く」指導を通して～

## 2 主題設定の理由

平成23年度からこれまでの成果をもとに、「学ぶ意欲を高め、自ら考える力を育てるための小・中連携」を目指して研修をしてきている。「学ぶ意欲」とは「わかった・できた」という授業から生まれると考えるが、それを引き出す手立てとして、「話す」こと「聞く」ことを重点的に指導していくことが必要であると考えた。各校さまざまな実態があるものの、「話す」こと「聞く」ことの指導を継続することで一定の成果が期待できると考える。そこで、小・中学校で共通して取り組む事項（三校共通重点事項）を決め、実践することで、学ぶ意欲を高め、自ら考える力を育てることにつながると考え、主題を設定した。

小・中連携を通してめざす児童生徒像及び教職員像

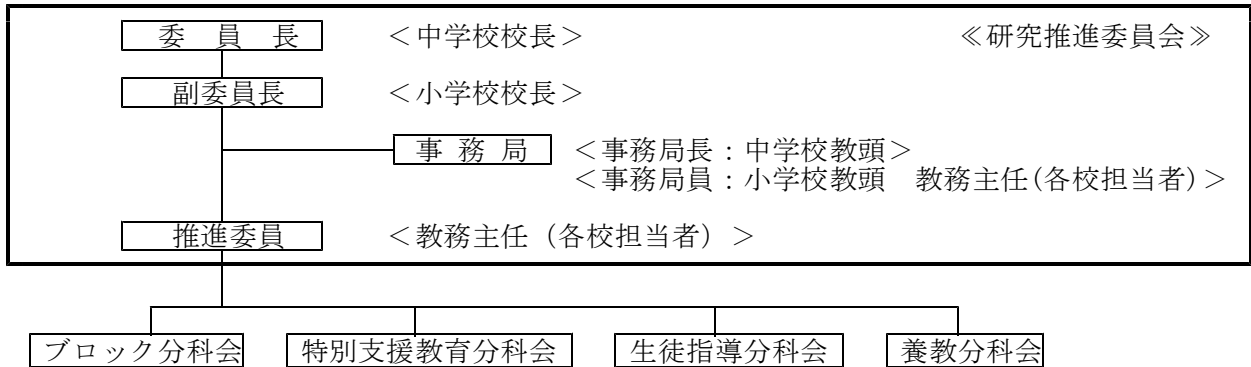
### (1) めざす児童生徒像

- ・授業場面において、友達に自分の思いや考えを伝えたり、発表したり、ノートに書いたりすることができる。
- ・登下校時に教職員や仲間、地域住民等に対してさわやかにあいさつをすることができる。
- ・校内で教職員や来校者等に対してさわやかにあいさつをすることができる。

### (2) めざす教職員像

- ・話すこと・聞くことの場の設定を工夫する。
- ・学習課題の設定を工夫する。
- ・授業の流れがわかる板書を工夫する。
- ・ペアやグループでの話し合い等、様々な学習形態を工夫する。

## 3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



## 4 中学校区の重点指導項目

第一中学校区 重点指導項目

### (1) 話すこと・聞くこと・書くことについて

<小学校全学年共通>

- 相手にわかるように自分の思いや考えを伝えたり、相手を見て話をしっかりと聞いたりすることができる。また、書くことができる。

<中学校全学年共通>

- 教師や仲間に、根拠を明らかにして自分の意思を伝えたり、姿勢を正して教師や仲間の話を理解しながら聞いたりすることができる。また、書くことができる。

### (2) あいさつについて

- 小中で連携して、あいさつの励行に努める。

### (3) 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりについて

- 学習課題の設定、授業の流れがわかる板書、授業形態の工夫等について小中で連携する。